

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年2月21日（金）

2 確認箇所

多核種除去設備等処理水測定・確認用設備（図1）

3 確認項目

多核種除去設備等処理水の試料採取状況の確認

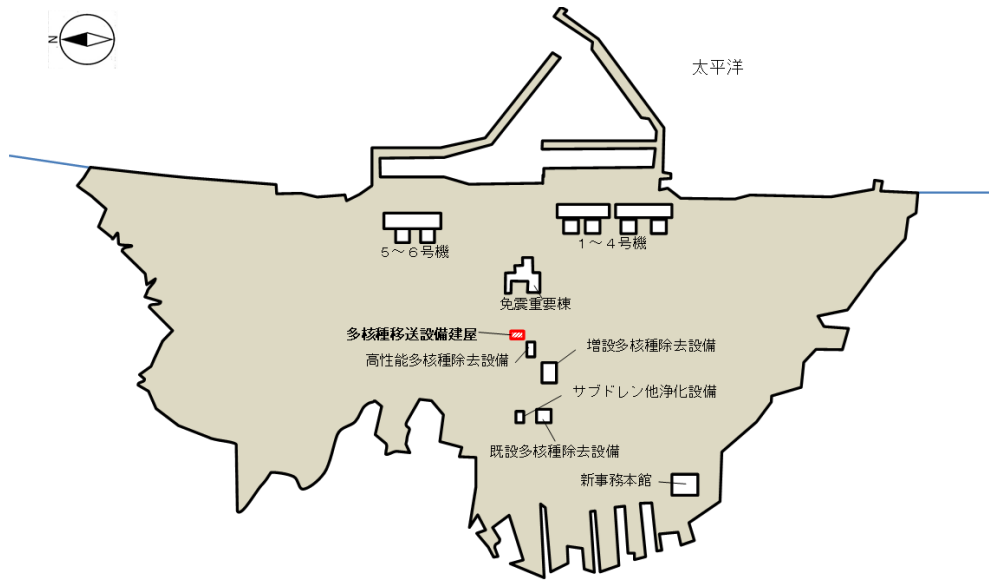
4 確認結果の概要

東京電力は、多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の海洋放出に際して、希釈前のALPS処理水の放射性核種濃度や水質を測定し、トリチウム以外の放射性核種濃度が法令上の基準以下となっていることを確認している。（トリチウム濃度は海水で希釈して法令上の基準を満足させる。）

東京電力では、ALPS処理水の第12回目（令和7年度第1回目）の放出に向けて、G4南エリアB群及びK3エリアA/B群のタンクに貯留しているALPS処理水を測定・確認用タンク（A群）に移送後、2月13日から循環攪拌運転を行っている。

本日は、希釈前の放射性核種濃度及び水質測定用のALPS処理水の試料採取が行われることから、その状況や手順を確認した。（前回確認：令和7年1月14日）

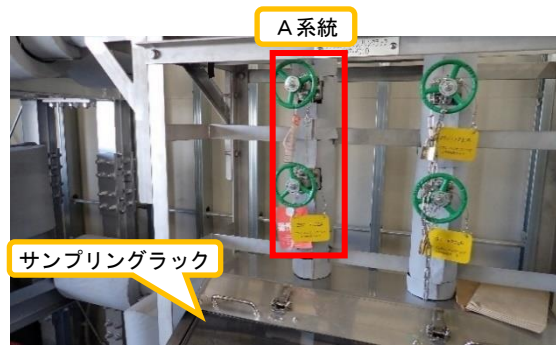
- ・試料採水は、サンプルタンク循環ポンプが設置されている多核種移送設備建屋（以下「建屋」という。）のサンプリングラインA系から行われた。（写真1）
- ・建屋入口付近に、試料採取用具及び試料を仮置きするクリーンエリアが設置されていた。（写真2）
- ・試料採水前に、配管のフラッシングが行われた後、分析機関ごとに容器を分けて試料の採水が行われた。（写真3）
- ・また、共洗いを2回行った後に試料採水が行われていた。異物混入防止のため、試料採水者と弁操作者の役割分担がなされており、適切に採水が行われていた。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 多核種移送設備建屋の外観



(写真1-2) サンプリングライン



(写真2) クリーンエリアの状況



(写真3) 採水した試料の状況



(写真 4-1) 試料採水の様子①



(写真 4-2) 試料採水の様子②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。